



上段左から
 《上絵金彩獅子鈕付壺》新村留蔵 19世紀後期(明治時代前期) 個人蔵
 《新製マジリカ額皿》東京高等工業学校窯業科/板谷波山 1905(明治38)年
 東京工業大学博物館蔵
 《菊文様皿》図案:浅井忠/制作:清水六兵衛(四代) 1907(明治40)年
 京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵(AN.5461)

Ceramics Japan: Tracing Japanese Modern through Ceramics

セラミックス・ジャパン

陶磁器でたどる日本のモダン

約70年の陶磁器デザインを161件で一気にお見せします



下段左から
 《上絵金彩風景図皿》京都陶器会社 19世紀後期(明治時代中期) 個人蔵
 《タイル》淡陶株式会社、佐治タイル、佐藤化粧煉瓦他 20世紀前期
 (明治時代末期~昭和時代初期) 個人蔵
 《陶試紅銀彩碗皿》香蘭社 1941-43年頃(昭和10年代後半) 日本陶業連盟蔵

開館時間: 午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで) 毎週金曜日は午後8時閉館(入館は午後7時30分まで)

休館日: 2016年12月19日(日)、26日(日)、29日(水)~2017年1月3日(水)、10日(水)、16日(水)、23日(水)

入館料: 一般500円(400円)、大学生400円(320円)、高校生・60歳以上250円(200円)、小中学生100円(80円)

※()内は団体10名以上及び渋谷区民の入館料 ※土・日曜日、祝休日は小中学生無料 ※毎週金曜日は渋谷区民無料 ※障がい者及び付添の方1名は無料

主催: 渋谷区立松濤美術館



渋谷区立 松濤美術館

THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL:03-3465-9421 <http://www.shoto-museum.jp>

2016

12.13(火)~1.29(日)

2017

〈前期〉12.13(火)~1.9(月・祝) 〈後期〉1.11(水)~1.29(日)

※会期中、一部展示替えがあります。

セラミックス・ジャパン

陶磁器でたどる日本のモダン



《裝飾電燈台》陶磁器試験所 1927(昭和2)年
滋賀県信楽窯業技術試験場蔵
1926年フィラデルフィア万国博覧会出品



《百合花模様花瓶》 図案:武田五一/制作:錦
光山宗兵衛(七代) 1912(大正元)年 京都
工芸繊維大学美術工芸資料館蔵(AN.2557)



《上絵菊花図花瓶》井村彦次郎陶器店 1904(明治37)
年頃 個人蔵
1904年セントルイス万国博覧会出品(推定)



《生命の樹》バーナード・リーチ 1928(昭和3)年 京都国立近代美術館蔵



《蒔絵蝋燭台文ベレーセット》制作:大倉陶園/デザイン:日野厚
1925-29(大正14-昭和4)年 個人蔵



《白磁貼花菊文籠形壺》出石磁器会社 20世紀初(明治
時代後期) 兵庫陶芸美術館蔵(田中寛コレクション)



《鉄釉練炭ストーブ》岐阜県陶磁器試験場
1940(昭和15)年
岐阜県セラミックス研究所蔵

本展は、近代の日本で作られた陶磁器のデザインを概観する初めての展覧会です。幕末から明治時代初期にかけて開催された万国博覧会への出展などによって日本の浮世絵や工芸品は一躍脚光を浴び、西洋ではジャポニスム(日本趣味)がわき起こりました。陶芸においては、京都や九谷などの江戸時代から続く産地以外に、東京や横浜、名古屋などでも、日本画的な装飾をまとった陶磁器が大量に作られ、海外へ輸出されていきました。その後、日本の美術や工芸などを源泉としたアール・ヌーヴォーが欧米で大流行すると、明治時代後期には日本でもこの

影響を受けて陶磁器の分野でも図案研究などが盛んとなりました。大正時代以降は、こうしたデザイン活動が広く展開されるとともに、制作者の個性が大きく反映されていきます。国内においても生活用品である陶磁器にも暮らしに彩りを添えるための新たなデザインが求められるようになりました。また、陶磁器メーカーでは国内外向けの製品が量産され、食器以外にタイルなどの建材も生産されました。

本展では、明治維新から第二次世界大戦までの約70年におよぶ、近代日本陶磁器の創意にあふれたデザインの流れを161件の作品で紹介します。



【交通案内】京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分
JR・東京メトロ・東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分

渋谷区立 松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046
東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL:03-3465-9421
http://www.shoto-museum.jp

●講演会:1月15日⑧午後2時~「デザインありてこそー焼物から窯業へ」

森 仁史 氏(本展監修者、金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所)
*要入館料 *定員80名 *事前予約の必要はありません。 *直接、地下2階ホールへお越しください。

●当館学芸員によるギャラリートーク

12月16日⑧、1月8日⑧、22日⑧ 各回午後2時~
*要入館料 *事前予約の必要はありません。

モザイクタイルの
コースター



●ワークショップ:「モザイクタイルのコースター作り」1月7日⑧

内容:世界で1点だけのオリジナルコースターをお作りいただけます。詳細は美術館HPでご確認ください。

♪チェロコンサート:1月14日⑧午後2時~

出演 竹花加奈子氏
*要入館料 *定員80名(応募者多数の場合は抽選)
*事前申し込みが必要です。詳細は美術館HPでご確認ください。



竹花加奈子氏

●館内建築ツアー

12月16日⑧、23日⑧・㊿、1月6日⑧、13日⑧、20日⑧、27日⑧ 各日午後6時~6時30分
12月17日⑧ 午後4時~4時30分
*要入館料 *各回定員20名 *事前予約の必要はありません。